

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-9



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。食べたいメニューが複数あり、複数回、足を運ぶこともあります。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回も明治初期に法律学校を目指した千代田区の両大学の学食めぐりです。メニューや値段は訪問時のものです。

訪問は今年の冬休みに入る前です。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。

最寄り駅は代表例です。

[法政大学] 千代田区富士見 2-17-1

最寄駅 中央線 市ヶ谷駅

明治 13 年 (1880 年) 創設の**東京法学校が前身**。自由民権運動の高揚・近代法制が求められた時代を背景に**フランス法系の近代的な法治と権利法を教育する私立法律学校**として創設。校名は東京仏学校・和仏法律学校を経て、明治 36 年 (1903 年) 法政大学に改称。大正 9 年 (1920 年) 大学設置。現存する日本の私学最古の法学部を有するとのこと。建学以来、自由な学風と進取の気象を校風としている。

駅からは江戸城外堀跡 (桜の名所) に沿って歩くと、目の前に**ボアソナードタワー27 階建** (写真下左) が見えます。更にお堀沿いを行くと**正門** (写真下右) があります。正門に立つ警備の方に「学食に行きたい」と伝えると、警備の方は「どうぞ、学食は右手です」と気持ち良い対応で、帰りには「いかがでしたか？」

と声をかけられました。初めて行く場所で最初に会う人の印象は
とても大切だと思いました。



ボアソナードタワー



正門と富士見ゲート

ボアソナードとはフランスの
法学者・教育者で、来日し、
日本国内法を整備、貢献し、
「日本近代法の父」と呼ばれる方で、法政大学の祖です。建物名は
大学内の公募で「ボアソナードタワー」と決定したとのこと。

正門右手に行くと学食カフェテリア フォレスト ガーデン(写真
下左)があります。ボアソナードタワーB1Fにあたります。

ガーデン定食 クリームシチュー野菜コロッケ 480 円 (写真下
右)を注文。ライスは十六穀米を選択しました。

平日の営業時間は 11 時~17 時です。



もう一つの学食は正門正面の富士見ゲートを入り、3F にカフェテ
リア つどひ(写真下左)があります。定食ランチ ロコモコ丼 中
390 円 (写真下右) を注文。大は 490 円でライス大盛。ロコモコと
はハワイ料理(ハンバーグと卵乗せ)です。

平日の営業時間は 11 時～18 時です。



この他に富士見坂食堂がありますが、今回はパスしました。

〔専修大学〕 千代田区神田神保町 3-8

最寄駅 三田線 神保町駅

明治政府は近代国家の建設目標に西欧の先進的な文化を導入するため積極的に海外留学政策を進めました。日本人官費留学生がアメリカで結成した「日本法律会社」の関係者の相馬永胤、目賀田種太郎が帰国し、京橋に法律事務所を開設。更に同じ時期に帰国した田尻稻次郎、駒井重格も加わり、アメリカ留学時の構想、高等教育機関設立に動きだしました。この構想に賛同した福澤諭吉は明治 12 年（1879 年）まず慶応義塾の中に開設をと「慶応義塾夜間法律科」を、同じく賛同した箕作秋坪は自身の私塾「三漢塾」へ法律経済科を設置し、相馬に任せました。一方、日本法律会社は東京大学法学部の卒業生を加えて「東京攻方館」としました。明治 13 年（1880 年）この 3 つが統合して「専修学校」となりました。日本初の本格的な私立法律経済学校とのこと。大正 8 年（1919 年）専修大学と改称。青年を教育・指導することによって社会に「報恩奉公」という建学の精神、学風に「質実剛健 誠実力行」を挙げています。寅次郎の師、福澤先生が創設に関係したとは初めて知りました。

駅から A 2 出口を出て、専修大前交差点を渡り、右折すると左手に 1 号館（写真右）が見えます。右の低い建物 2 号館の B 2 F に神田 B 2 F 学生食堂があります。





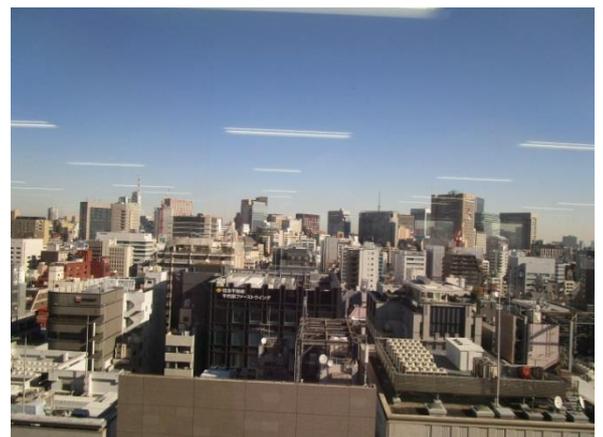
宮崎チキン南蛮丼 410 円（写真上右）を注文。平日の営業時間は 10 時 30 分～20 時ですが、定食類は 11 時からです。
 更に、B1F にはカフェ ポルト・ロアールがあります。ランチもありますが、平日の営業時間は 11 時 30 分～14 時で、日替わりランチ 500 円です。

写真上右の 15F 建て 1 号館 14F に神田 14F 軽食コーナー（写真下左）があります。



神田名物 黒門カレー 390 円（スパイシーで牛肉入り、黒米使用）を注文（写真上右）。

こんな風景を見ながらのランチですが、学生はまばら。食堂のおばさん「上がってくるのが面倒で、学生が来ないの！」とぼやいていました。
 でも入口には「11 時 45 分～13 時は関係者のみの利用となります」と小さい掲示がありました。



食べる大学グッズのポスターを神田 B2F 学食の入口で見つけました。写真上段は専大クッキー、下段は左から専大手焼きせんべい、専大メリーチョコレート、専大まんじゅうです。B1F 受付窓口で買うそうです。



大学公式サイトを見ると 2020 年 4 月 1 日 神田キャンパス新校舎（15F 建て）がオープンとの広告がありました。新しい学食も楽しみです。

【お願い】

「寅さん歩」を読んで、学食に行きたいと思う方へのお願いです。学食は当たり前ですが、学生及び学校関係者の厚生施設です、ルールを守り、ご迷惑をかけないような行動をお願いします。学食の営業予定やグループで行く場合については事前確認を、出入りは守衛さんに一言声掛ける、11 時～11 時 30 分には食事を済ませるようにしてください。

次回は 東京の学食めぐり-10 です。

平野 寅次郎 拝